

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



# 豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第14号 R2. 2. 15

豊能町小中一貫教育推進研究会

全体授業実践発表会を開催しました



令和2年1月29日（水）豊能町立光風台小学校を会場に、豊能町内の小・中学校の先生方が集まり、小・中学校の先生方が一緒に行う授業を3教室で行いました。

今年度は、国語・社会・外国語（英語）の3教科で、小学校5・6年生を対象に授業を行い、多くの先生方が授業を参観し、意見交流しました。

この取組みは、「小学校のきめ細やかな指導」と「中学校の専門性の高い指導」等をそれぞれの授業に生かそうと今年度より始めました。今後の豊能町の保幼小中一貫教育推進を見据えながら、小・中学校の教職員が合同で授業研究を行い、教職員としての資質向上を図ることを目的としています。

学年・教科	教室	授業者（TT）	授業内容
5年2組 国語	5年2組教室	(小)松石 洋子 教諭 (中)山部 晃治 教諭	物語の読み方を広げよう 「ゆず」
5年1組 社会	5年1組 教室	(小)谷脇 純一 教諭 (中)大隈 安頭 教諭	わたしたちの生活と環境
6年1組 外国語活動	英語 教室	(小)佐藤 亮介 教諭 (中)近藤 巧 教諭	Lesson8 What do you want to be? (将来の夢や職業について)

## 各教科での先生方の感想

### （国語）

- 児童が新鮮な感じで楽しんでいたのが良かった。
- 授業の中に書く活動と話す活動があり、活発な意見交換ができていた。
- △教師からではなく、児童が気づくようにするとさらに対話的な授業になると思いました。



### （社会）

- （中）中学生より児童の反応が良く、授業をしていて楽しかった。
- （小）中学校教員の教科専門性を生かした授業であり、大変勉強になった。語りかけ方が良かった。



- 導入の部分で児童の興味関心を引き付けることができ、まとめでは自分事として考えていたのが良かった。
- △視覚的にわかりやすい支援がいろいろな所にあり、学習に集中する雰囲気生まれたが、どこに着目するかは焦点化していく必要がある。また「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりをどう取り入れていかを考えていきたい。

### （外国語活動）

- 児童の様子からフレーズを主体的に練習でき、対話的な学びがあった。
- スモールステップで授業が組み立てられており、飽きさせずテンポが良かった。
- 聞く活動や視覚的にも工夫があり、チャンツ（単語や文をリズムに乗せて言うこと）を上手く活用しながら流暢さも重視して進められていたのが良かった。
- 今日の6年生も書いていた英文から、単語を意識したスペースを入れた書き方ができるになっている。
- △アクティビティの時間がもう少しあれば良かった。
- 小学校で深い学びをどこまで求めるか考えなければならない。ライティングが難しいし、時間もかかる。ライティングやリスニングを含めた4技能のバランスよく教える授業を考えていきたい。

